

大きな地震が発生したら…

Point 1 グラッときたら身の安全を確保！

緊急地震速報や揺れを感じたら

自分がいる場所に応じて

「揺れから身を守る！」



※緊急地震速報とは、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報です。テレビ・ラジオ・携帯電話・スマートフォン・防災行政無線などでお知らせします。



①強い揺れを感じたら…

身を守る行動を！



津波で浸水する
恐れがある場所では

ブロック塀・門柱の転倒、
ガラス・瓦の落下、切れた
電線に注意しましょう。

長い揺れ、
強い揺れの後には
必ず津波が来る！

津波で浸水する
恐れがない場所では

Point 2 揺れがおさまったら高台へ避難！

津波警報などの発表を待たず、とにかく避難！！

住まい、職場、学校などに津波の危険がある場合

「すぐ逃げましょう！」



強く長い揺れがおさまったら、すぐに高台へ避難！

とにかく走って、戻らない！

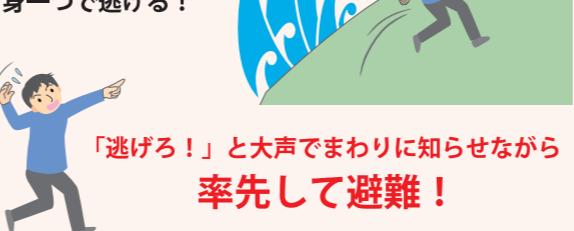
少しでも高いところへ！



②揺れがおさまったら

高い所へ避難！

津波警報や注意報の
発表を待たず、
身一つで逃げる！



③戻らない！

津波は繰り返し襲ってきます！



津波警報が解除されるまで 絶対戻らない！

②揺れがおさまったら

落ち着いて行動！

- ガスの元栓を閉じる
- 停電時に避難するときはブレーカーを落とす
- 外に出るときは周囲の状況の安全確認を行う
- ラジオや緊急速報メールなどから災害の情報を入手する
- 非常時持出品を準備する



③二次災害へ備える！

命の危険は地震発生直後だけとは限らない！



地震火災や土砂災害などの
二次災害や余震に備える！

1. 地震に関する防災情報

震度階級表

震度 4	震度 6弱
●ほとんどの人が驚く。 ●電灯等のつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。	●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ●ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
耐震性が 低い	耐震性が 高い
震度 5弱	震度 6強
●大半の人が、恐怖を覚え、物につかりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	●はわからないと動くことができない、飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の崩壊が発生することがある。
耐震性が 低い	耐震性が 高い
震度 5強	震度 7
●物につかまないと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本が落ちるものが多くなる。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。	●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。
耐震性が 低い	耐震性が 高い

出典：気象庁ホームページ（震度と揺れ等の状況（概要））

大津波警報、津波警報、津波注意報

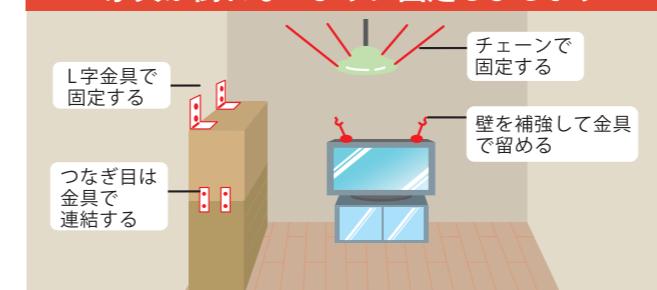
気象庁は、地震が発生したときには地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分（一部の地震については最速2分程度）を目標に、大津波警報（特別警報）、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

	予想される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	平常潮位からの津波で変化した波の高さ 数値での発表（高さ予想）	巨大地震の 場合の表現		
特別警報 大津波警報	10m 超(10m~)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。	マップの浸水域や海岸、川の近くに居る人は、ただちに近くの津波避難タワー（高台等）や丈夫な建物の高層階等に避難
	10m (5m~10m)			
	5m (3m~5m)			
津波警報	3m (1m~3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。（内閣府データ：木造家屋は2mの浸水で全壊）	津波避難タワー
津波注意報	1m (20cm~1m)	表記しない	海の中では人は早い流れに巻き込まれ、養殖いかだが流失、小型船舶が転覆します。	

2. 地震への備え

家具の転倒防止・家具の配置に注意しましょう

家具が倒れないように固定しましょう



家具やテレビ等を固定し、転倒や落下を防止する。

家具の配置に注意しましょう



寝室には倒れそうな家具を置かない。
扉をふさぐような配置をしない。

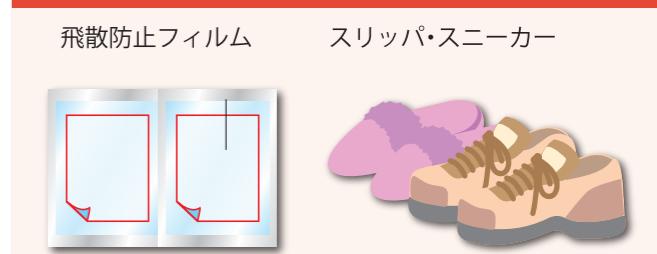
二次災害にも備えましょう

火災への備え



消火器や火災警報器の設置及び点検。
感震ブレーカーの設置。地震保険への加入。

室内での備え



窓ガラスや食器類の破片対策として、飛散防止フィルム、スリッパ等の準備。

家の耐震性を確認し、耐震化をしましょう

四万十市では住宅の耐震化を推進するため、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事について補助制度を設けています。耐震診断→耐震改修設計→耐震改修工事の順番で進めています。（ただし、次の段階へ進むことを義務付けるものではありません。）なお、高知県に登録された耐震診断士及び施工業者等が診断、設計、工事を行うことが条件になります。詳しくは四万十市にお問い合わせください。

耐震診断

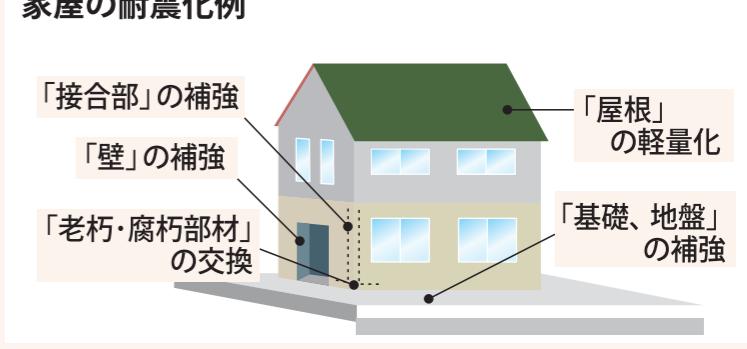
- 木造住宅耐震診断
- 非木造住宅耐震診断

耐震改修設計

耐震改修工事

申請・問い合わせ先
地震防災課 電話：0880-35-2044
西土佐総合支所 電話：0880-52-1111
地域企画課

家屋の耐震化例



地震の強い揺れにより、耐震性のない住宅が倒壊する等、被害を拡大させる可能性があります。